



速報版

就業意識 実態調査 2016



調査の目的

このアンケートは、NCCU組合員の就業意識、就業実態を把握し、今後の組合活動に役立てるために2016年3月に実施したものです。

※この報告書(速報版)は、組合員の回答を集計・要約したものです。

調査票の配布と回収

■月給制組合員

配布 (2,000名)
 回収 (1,795名)
 回収率 (89.7%)

■時給制組合員

配布 (2,000名)
 回収 (1,145名)
 回収率 (57.2%)



[調査全般]

- ・調査対象期間は2016年3月1日～3月31日。調査票は月給制と時給制で同一のものを使用。
- ・配布 総数4,000名 回収2,940名 回収率73.5%
月給制2,000名 回収1,795名 回収率89.7%
時給制2,000名 回収1,145名 回収率57.2%
(全体の回収率は、2015年度より8.59ポイント上昇)

[取得している資格と業務に活かしている資格]

- ・取得資格は、月給制:介護福祉士(取得率59.3%)、時給制:訪問介護員2級(41.1%)が最多。
- ・業務で活かしている資格は、月給制:介護福祉士46.0%、時給制:介護福祉士32.6%が最多。

[現在の仕事について]

- ・2016年3月中に働いた日数/時間数の平均は、月給制:22.14日/179.81時間、
時給制:18.99日/123.60時間。月給制・時給制それぞれ日数/時間数ともに増加。
- ・年次有給休暇は、月給制:51.8%、時給制:66.3%が「取得できる」。
*「いつでも取得できる」「ある程度取得できる」合算
- ・年次有給休暇が取得できない理由は、「人手不足で取りにくい」が最多。
- ・働く上での不安が多い(月給制:75.2%、時給制:63.5%)。
理由は、月給制:自分の将来のことが不安、時給制:利用者に適切なサービスができていないか不安。
- ・働く上での不満も多い(月給制:80.7%、時給制:62.0%)。
理由は、月給制、時給制ともに「賃金が安い」。

[以前と現在の仕事状況]

- ・介護業界に入った理由は、「介護や福祉の仕事に関心があった」(月給制43.0%、
時給制38.2%)が最多。
- ・現職場の直前に就いていた仕事は、月給制「介護・医療機関以外の正社員」(21.8%)、
時給制「介護・医療機関以外のパートタイマー」(25.2%)が最多。
- ・前職を辞めた理由
- <<賃金が理由の場合>>
「賃金が少ない」(月給制13.2%、時給制10.7%)が最多。
- <<勤務日数、労働時間、休日が理由の場合>>
月給制「正社員になりたい」(12.8%)、時給制「勤務時間や日数を増やしたい」(8.4%)が最多。
- <<勤務先の規模、仕事内容、通勤等が理由の場合>>
「やりたい仕事内容ではない」(月給制9.0%、時給制9.4%)が最多。



《職場の人間関係が理由の場合》

「上司との人間関係が悪かった」(月給制15.6%、時給制9.8%)が最多。

《個人的な理由》

「新しい仕事にチャレンジしたかった」(月給制37.4%、時給制28.0%)が最多。

[介護業界に入って感じたこと]

- ・賃金、昇給額、一時金は思っていたより「低い」(月給制、時給制)。
- ・1日の忙しさは、思っていたより「忙しい」(月給制、時給制)。
- ・残業時間は、月給制は思っていたより「多い」、時給制は「違いはない」。
- ・休日出勤の回数、資格の活用、会社の研修制度、職場内での教育・指導は、「違いはない」(月給制、時給制)。
- ・肉体的、精神的疲労は、思っていたより「ある」(月給制、時給制)。
- ・職場内の人間関係、利用者・ご家族との関係作り、仕事内容の適正、会社・介護業界の将来性は「違いはない」(月給制、時給制)。

[現在の仕事を続けたいか]

- ・「現在の職場で同じ職種を続けたい」(月給制54.2%、時給制65.9%)が最多。
- ・続けたくない理由

《賃金が理由の場合》

月給制「賃金の額が少ない」(36.2%)、時給制「一時金が少ない・出ない」(30.6%)が最多。

《勤務日数、労働時間、休日が理由の場合》

月給制「有給休暇が取れない」(22.8%)、時給制「正社員になりたい」(16.6%)が最多。

《勤務先の規模、仕事内容、通勤等が理由の場合》

月給制「ノルマがきつい」(10.7%)、時給制「その他」(12.9%)が最多。

《職場の人間関係が理由の場合》

月給制「上司との人間関係が悪い」(12.4%)、
時給制「同僚との人間関係が悪い」(8.9%)が最多。

《個人的な理由》

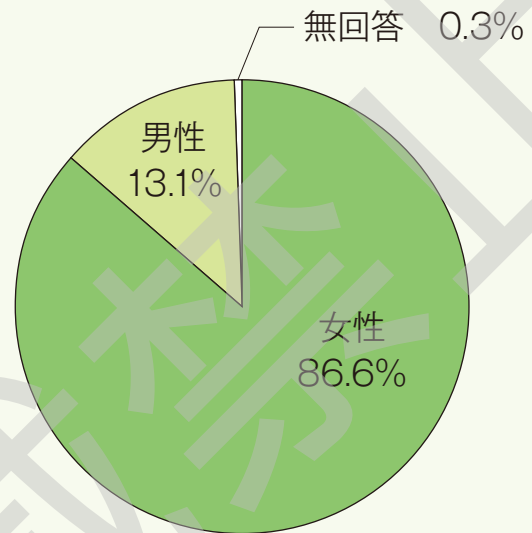
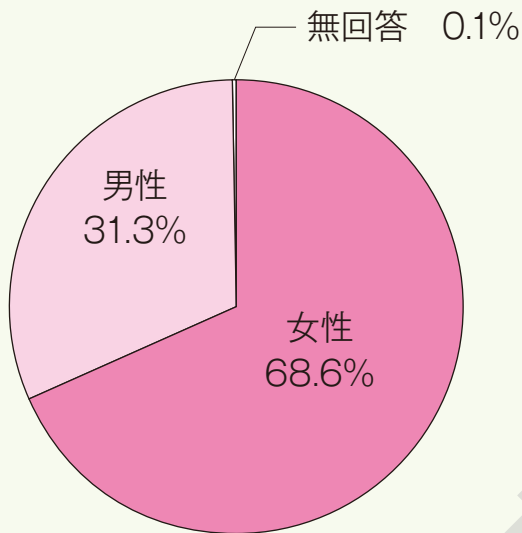
「新しい仕事にチャレンジしたい」(月給制34.0%、時給制30.0%)が最多。

[介護の最前線(現場)で起こっている解決したいこと]

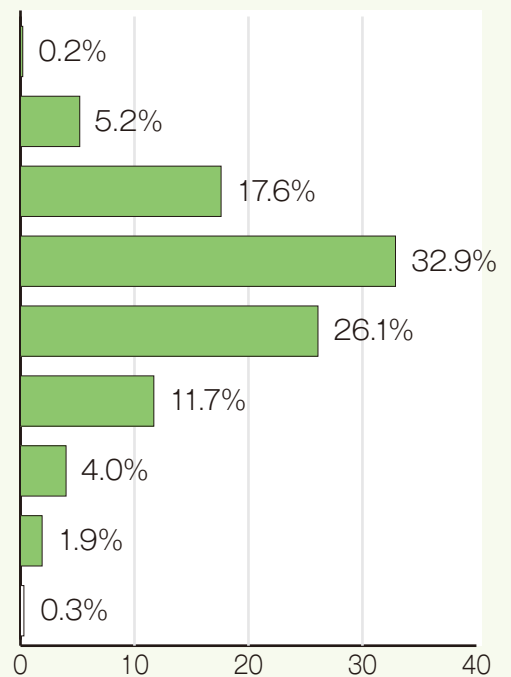
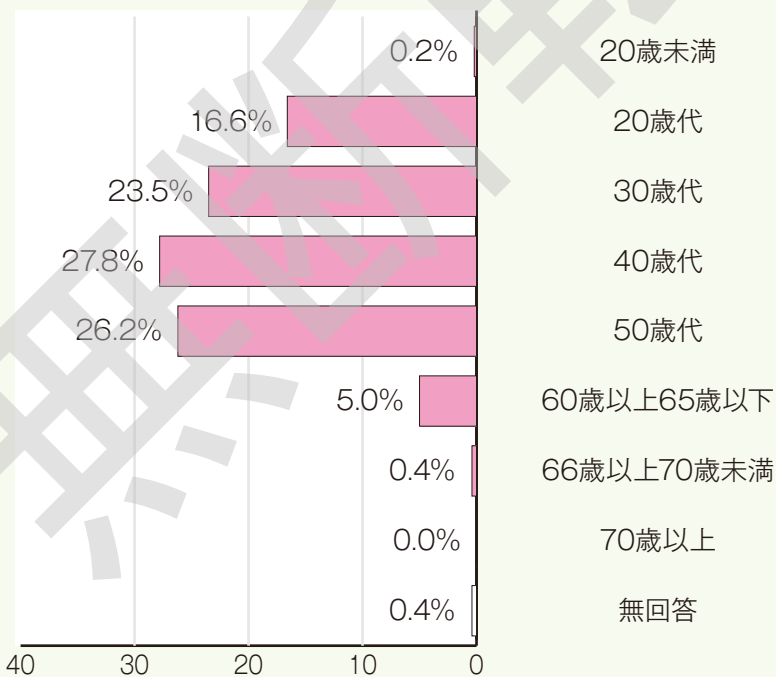
- ・「人手不足、離職の多さ」が最多。

アンケートに回答していただいた人たち

1 性別

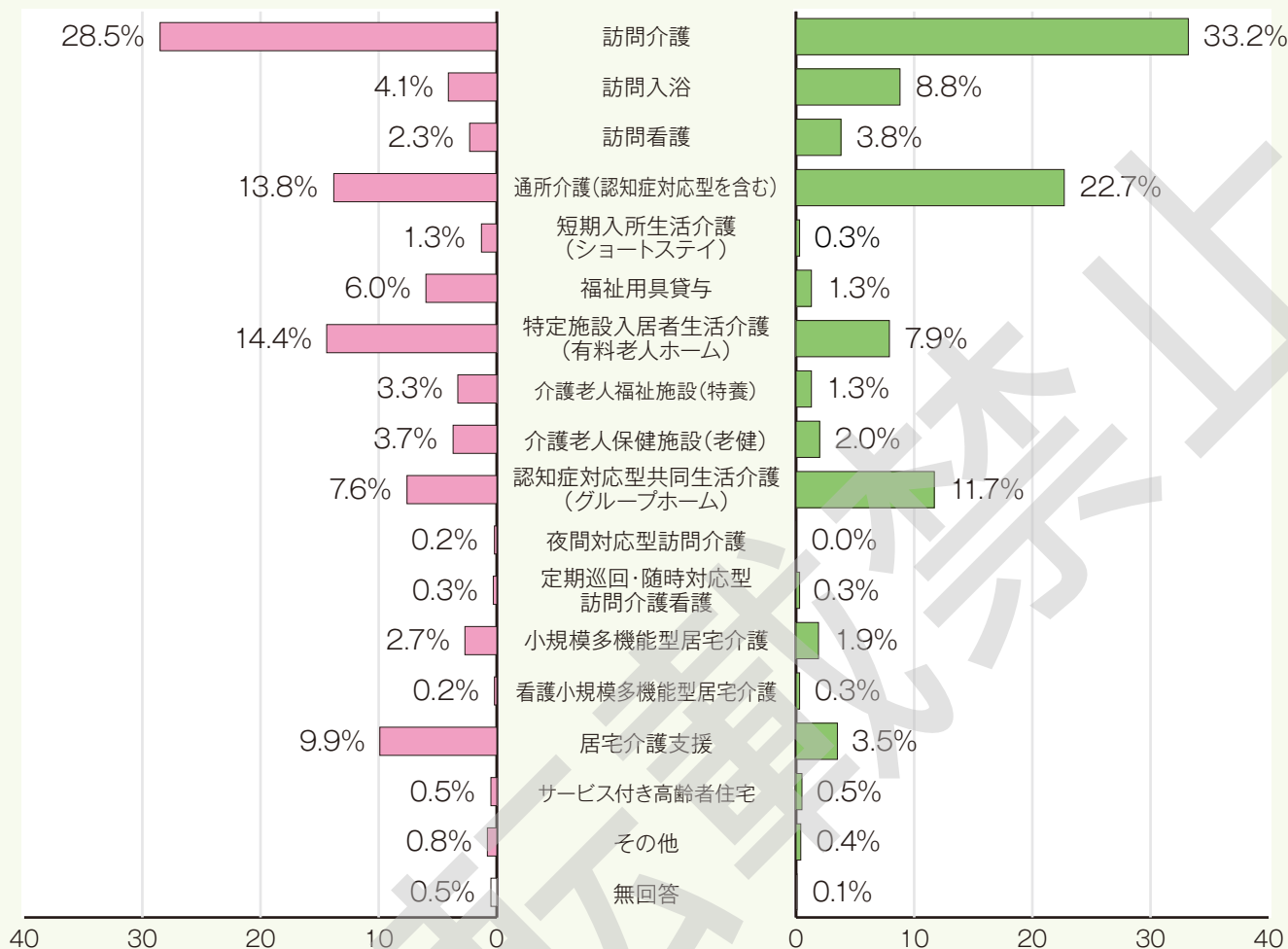


2 年齢

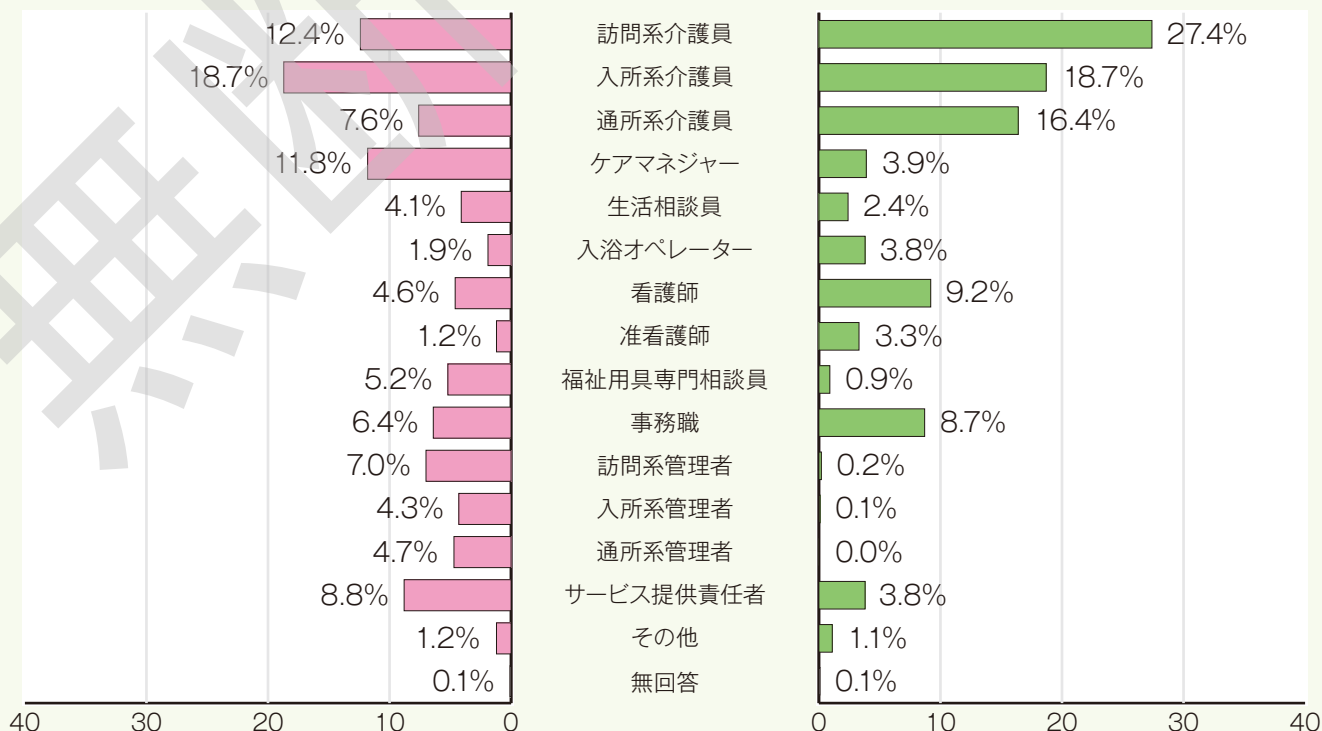


比率(%)は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

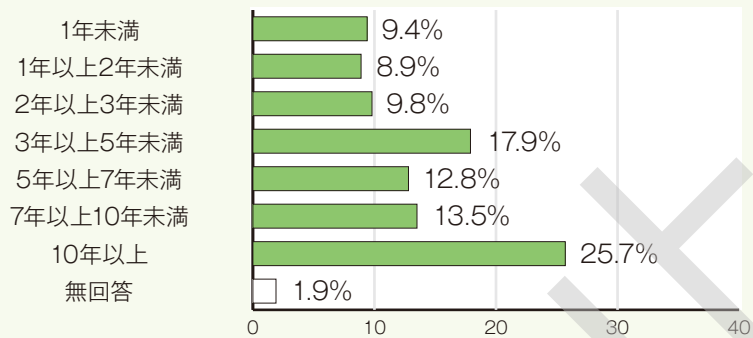
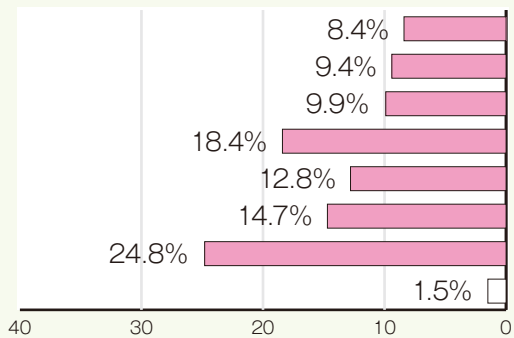
3 関わっている主な介護サービス



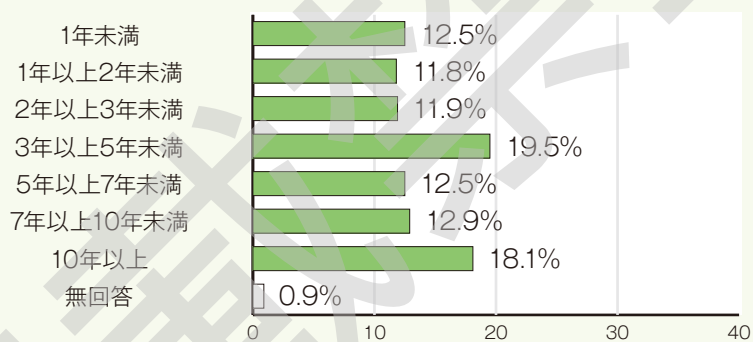
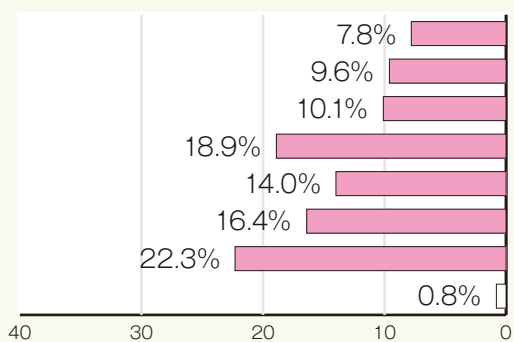
4 (1) 主に従事している職種



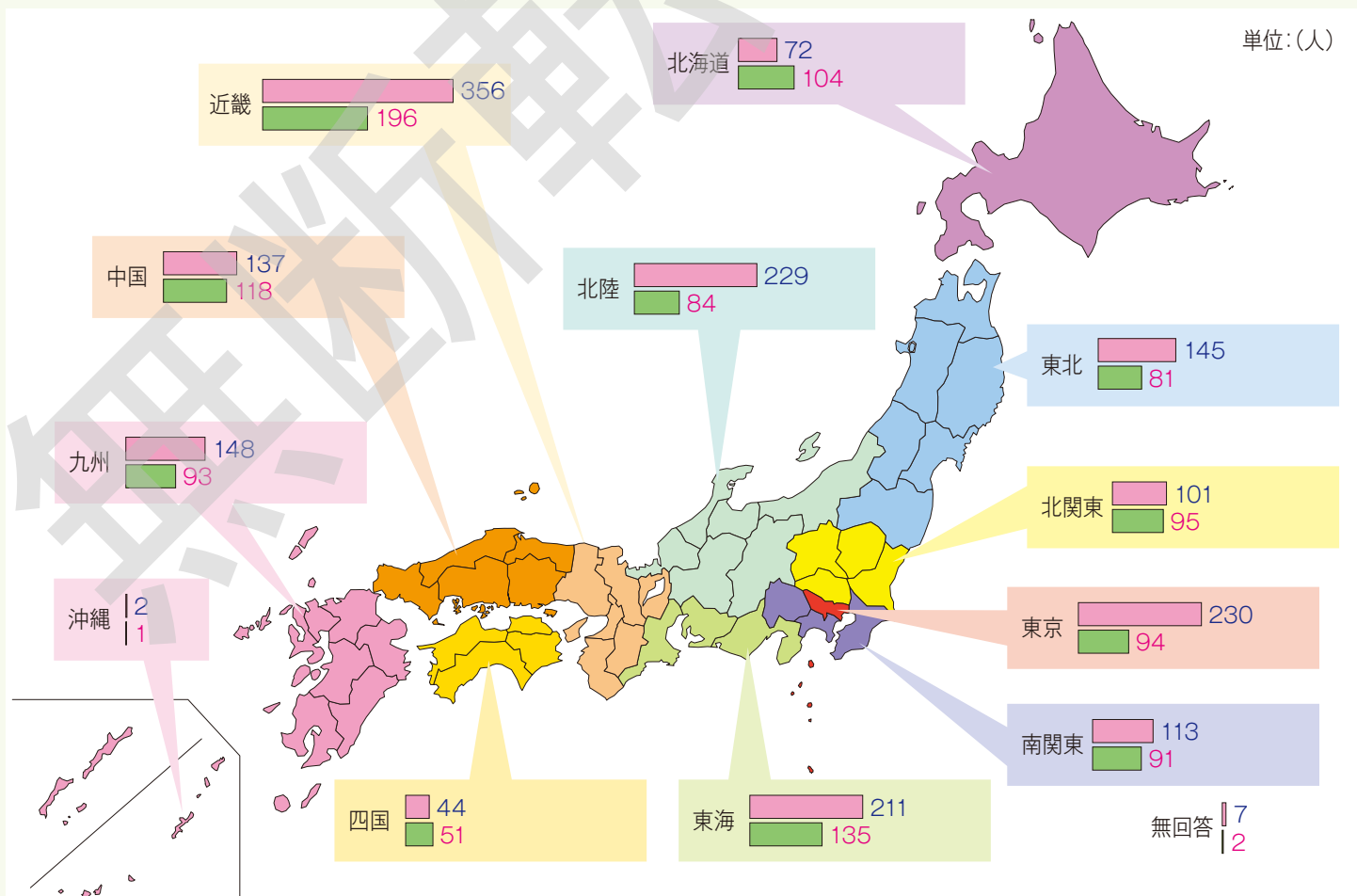
4 (2) (4(1)で回答した)仕事の経験年数(2016年3月現在)



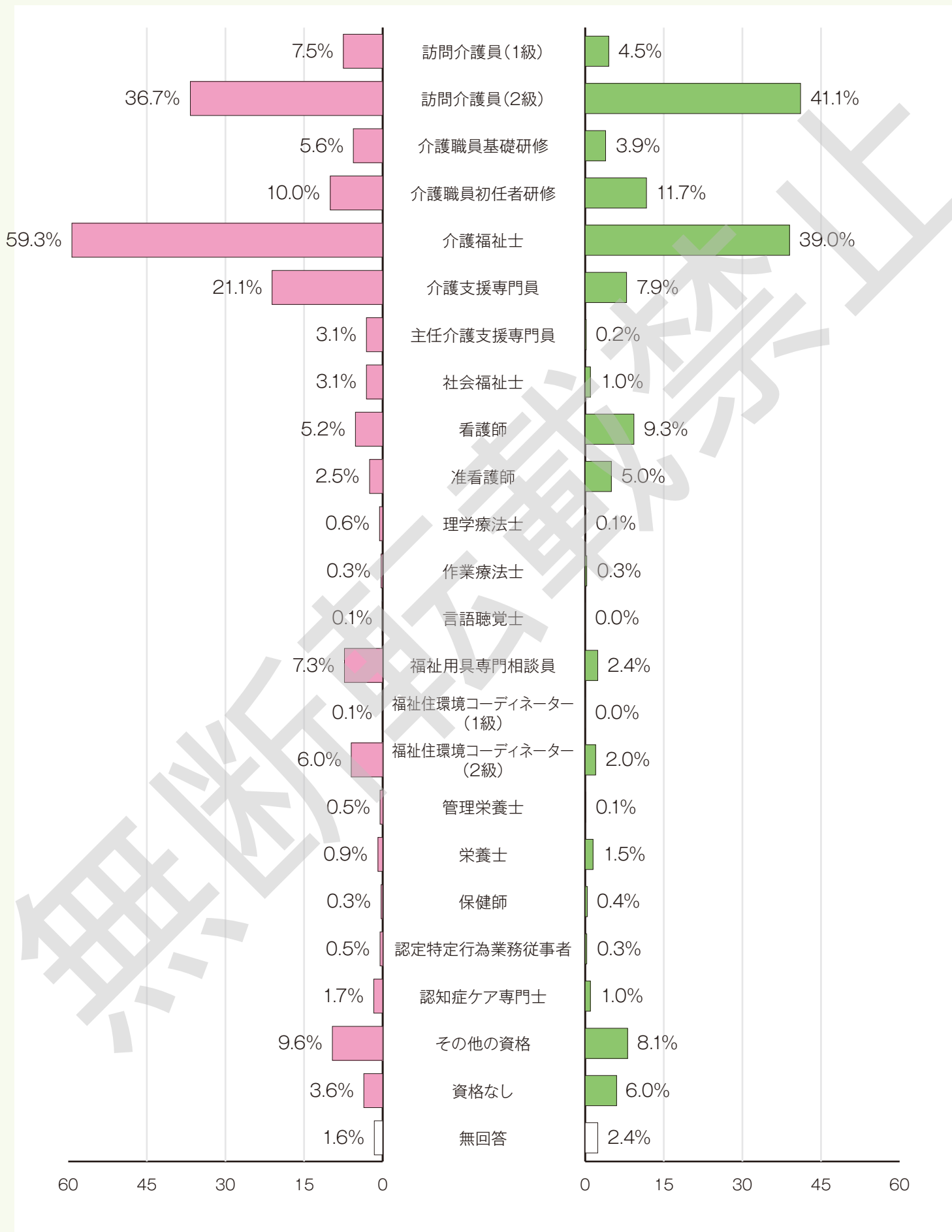
5 現在の会社での勤務年数(2016年3月現在)



6 勤務している事業所の所在地



7 (1) 現在保有している資格(複数回答)



7 (2) (職種別) 現在業務で活かしている資格 - 月給制組合員

月給制全体

- 1 介護福祉士
826名 46.0%
- 2 訪問介護員(2級)
320名 17.8%
- 3 介護支援専門員
232名 12.9%

1. 訪問系介護員

- 1 介護福祉士
134名 60.4%
- 2 訪問介護員(2級)
70名 31.5%
- 3 介護職員初任者研修
19名 8.6%

2. 入所系介護員

- 1 介護福祉士
196名 58.5%
- 2 訪問介護員(2級)
64名 19.1%
- 3 介護職員初任者研修
59名 17.6%

3. 通所系介護員

- 1 介護福祉士
62名 45.6%
- 2 訪問介護員(2級)
28名 20.6%
- 3 介護職員初任者研修
26名 19.1%

4. ケアマネジャー

- 1 介護支援専門員
193名 91.0%
- 2 介護福祉士
48名 22.6%
- 3 主任介護支援専門員
38名 17.9%

5. 生活相談員

- 1 介護福祉士
48名 64.9%
- 2 その他の資格
17名 23.0%
- 3 訪問介護員(2級)
12名 16.2%

6. 入浴オペレーター

- 1 訪問介護員(2級)
13名 38.2%
- 2 介護職員初任者研修
7名 20.6%
- 3 介護福祉士
4名 11.8%

7. 看護師

- 1 看護師
72名 87.8%
- 2 准看護師
4名 4.9%
- 3 介護支援専門員
2名 2.4%

8. 准看護師

- 1 准看護師
20名 95.2%

9. 福祉用具専門相談員

- 1 福祉用具専門相談員
80名 85.1%
- 2 福祉住環境
コーディネーター(2級)
22名 23.4%
- 3 訪問介護員(2級)
13名 13.8%

10. 事務職

- 1 訪問介護員(2級)
8名 7.0%
- 1 その他の資格
8名 7.0%
- 3 介護福祉士
5名 4.3%

11. 訪問系管理者

- 1 介護福祉士
90名 71.4%
- 2 訪問介護員(2級)
30名 23.8%
- 3 訪問介護員(1級)
9名 7.1%

12. 入所系管理者

- 1 介護福祉士
48名 61.5%
- 2 介護支援専門員
21名 26.9%
- 3 訪問介護員(2級)
11名 14.1%

13. 通所系管理者

- 1 介護福祉士
58名 68.2%
- 2 訪問介護員(2級)
15名 17.6%
- 3 その他の資格
12名 14.1%

14. サービス提供責任者

- 1 介護福祉士
125名 79.1%
- 2 訪問介護員(2級)
45名 28.5%
- 3 訪問介護員(1級)
17名 10.8%

15. その他

- 1 理学療法士
6名 27.3%
- 2 作業療法士
5名 22.7%
- 3 福祉住環境
コーディネーター(2級)
2名 9.1%

7 (2) (職種別) 現在業務で活かしている資格 - 時給制組合員

時給制全体

- ① 介護福祉士
373名 32.6%
- ② 訪問介護員(2級)
296名 25.9%
- ③ 介護職員初任者研修
110名 9.6%

1. 訪問系介護員

- ① 訪問介護員(2級)
148名 47.1%
- ② 介護福祉士
136名 43.3%
- ③ 介護職員初任者研修
22名 7.0%

2. 入所系介護員

- ① 介護福祉士
78名 36.4%
- ② 訪問介護員(2級)
45名 21.0%
- ③ 介護職員初任者研修
43名 20.1%

3. 通所系介護員

- ① 介護福祉士
77名 41.0%
- ② 訪問介護員(2級)
50名 26.6%
- ③ 介護職員初任者研修
34名 18.1%

4. ケアマネジャー

- ① 介護支援専門員
44名 97.8%
- ② 介護福祉士
9名 20.0%
- ③ 訪問介護員(2級)
3名 6.7%

5. 生活相談員

- ① 介護福祉士
20名 74.1%
- ② 訪問介護員(2級)
4名 14.8%
- ③ その他の資格
3名 11.1%

6. 入浴オペレーター

- ① 訪問介護員(2級)
17名 39.5%
- ② 介護福祉士
8名 18.6%
- ③ 介護職員初任者研修
6名 14.0%

7. 看護師

- ① 看護師
93名 88.6%
- ② 准看護師
3名 2.9%
- ③ その他の資格
1名 1.0%

8. 准看護師

- ① 准看護師
31名 81.6%
- ② 介護福祉士
1名 2.6%

9. 福祉用具専門相談員

- ① 福祉用具専門相談員
9名 90.0%
- ② 介護福祉士
2名 20.0%
- ③ 訪問介護員(2級)
1名 10.0%
- ④ 介護職員初任者研修
1名 10.0%
- ⑤ 介護支援専門員
1名 10.0%

10. 事務職

- ① その他の資格
9名 9.0%
- ② 訪問介護員(2級)
6名 6.0%
- ③ 介護福祉士
2名 2.0%

11. 訪問系管理者

※有効回答者数が5名以下の職種については、回答者の特定を防ぎ、プライバシーを保護するため、数値およびグラフの掲載をしておりません。ご了承ください。

12. 入所系管理者

※有効回答者数が5名以下の職種については、回答者の特定を防ぎ、プライバシーを保護するため、数値およびグラフの掲載をしておりません。ご了承ください。

13. 通所系管理者

14. サービス提供責任者

- ① 介護福祉士
39名 88.6%
- ② 訪問介護員(2級)
20名 45.5%
- ③ 訪問介護員(1級)
3名 6.8%

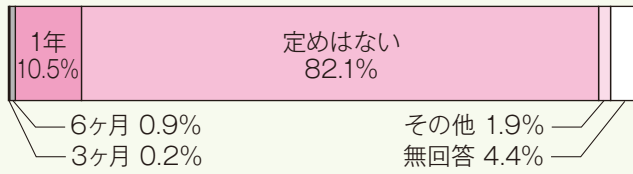
15. その他

- ① 作業療法士
3名 23.1%
- ② 訪問介護員(2級)
2名 15.4%
- ③ その他の資格
2名 15.4%
- ④ 管理栄養士
1名 7.7%

現在の仕事について

8 雇用契約期間 - 月給制組合員

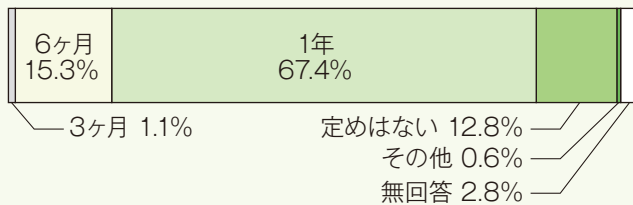
(月給制)働き方



9 3月中に実際に働いた日数と時間数 - 月給制組合員

職種	日数(平均)	時間(平均)
月給制全体	22.14 日	179.81 時間
1. 訪問系介護員	22.66 日	173.92 時間
2. 入所系介護員	21.56 日	173.53 時間
3. 通所系介護員	21.36 日	177.16 時間
4. ケアマネジャー	22.01 日	179.82 時間
5. 生活相談員	21.21 日	178.63 時間
6. 入浴オペレーター	22.30 日	186.02 時間
7. 看護師	21.87 日	178.73 時間
8. 准看護師	21.33 日	174.56 時間
9. 福祉用具専門相談員	22.05 日	184.74 時間
10. 事務職	21.68 日	177.38 時間
11. 訪問系管理者	23.66 日	190.32 時間
12. 入所系管理者	22.08 日	182.56 時間
13. 通所系管理者	22.52 日	193.51 時間
14. サービス提供責任者	23.16 日	184.90 時間
15. その他	21.89 日	173.93 時間

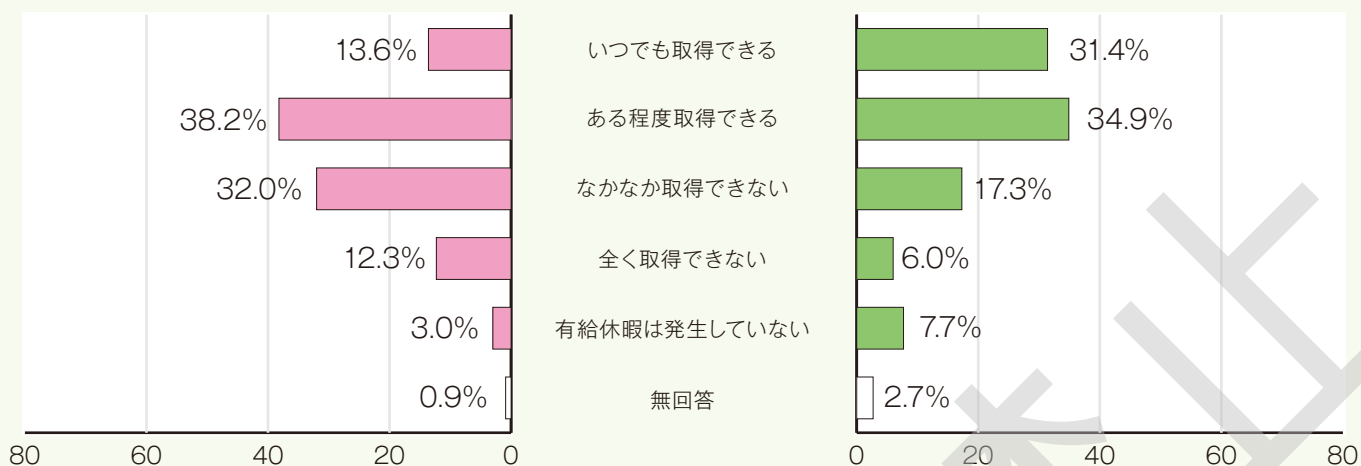
8 雇用契約期間 - 時給制組合員



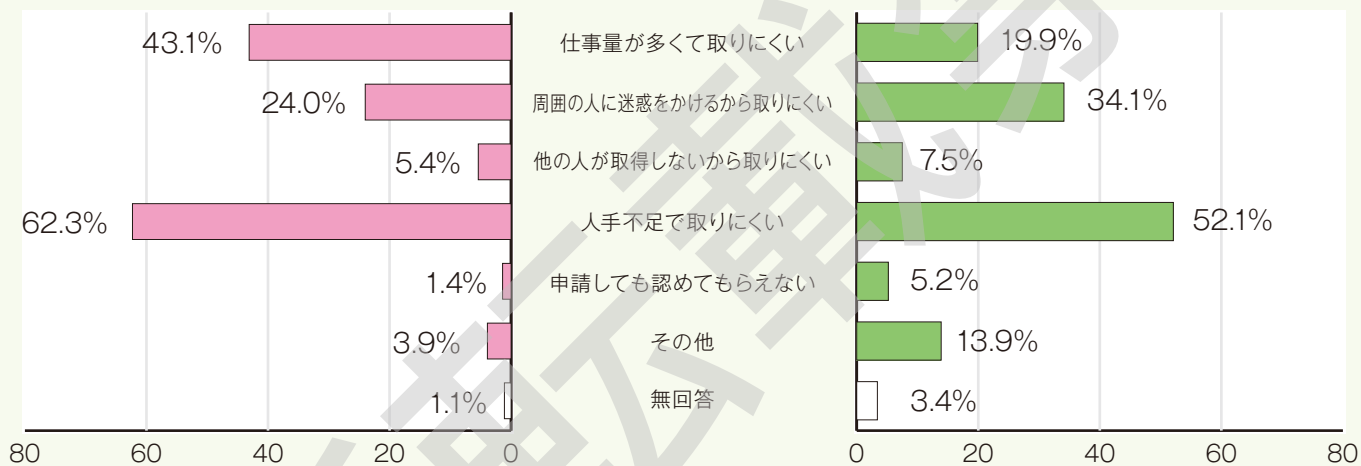
9 3月中に実際に働いた日数と時間数 - 時給制組合員



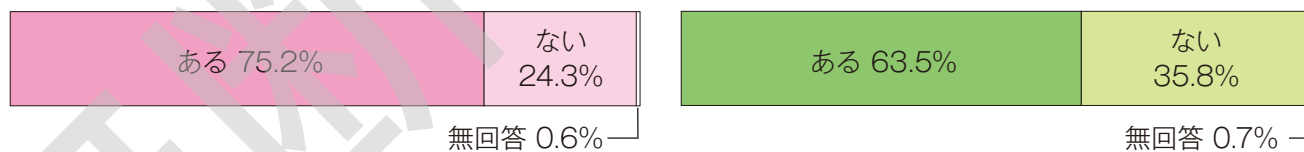
10 (1) 年次有給休暇(有休)は取得できていますか。



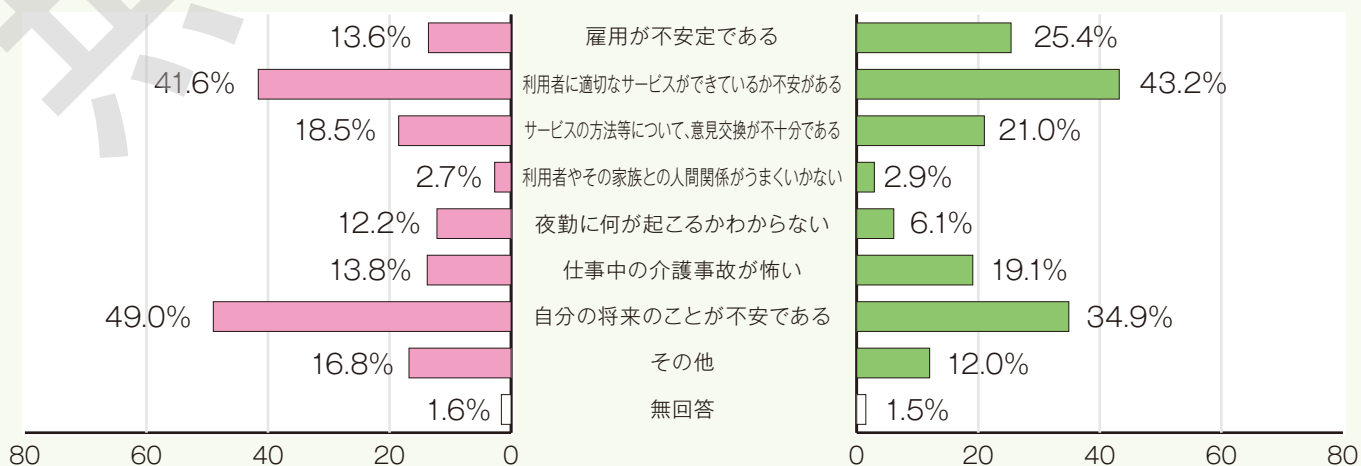
(2) (1)で「なかなか取得できない」「全く取得できない」と回答した方へ 取得できない理由(2つ以内)



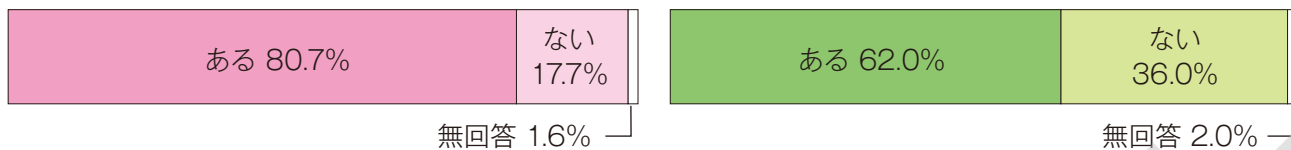
11 (1) 働く上での不安



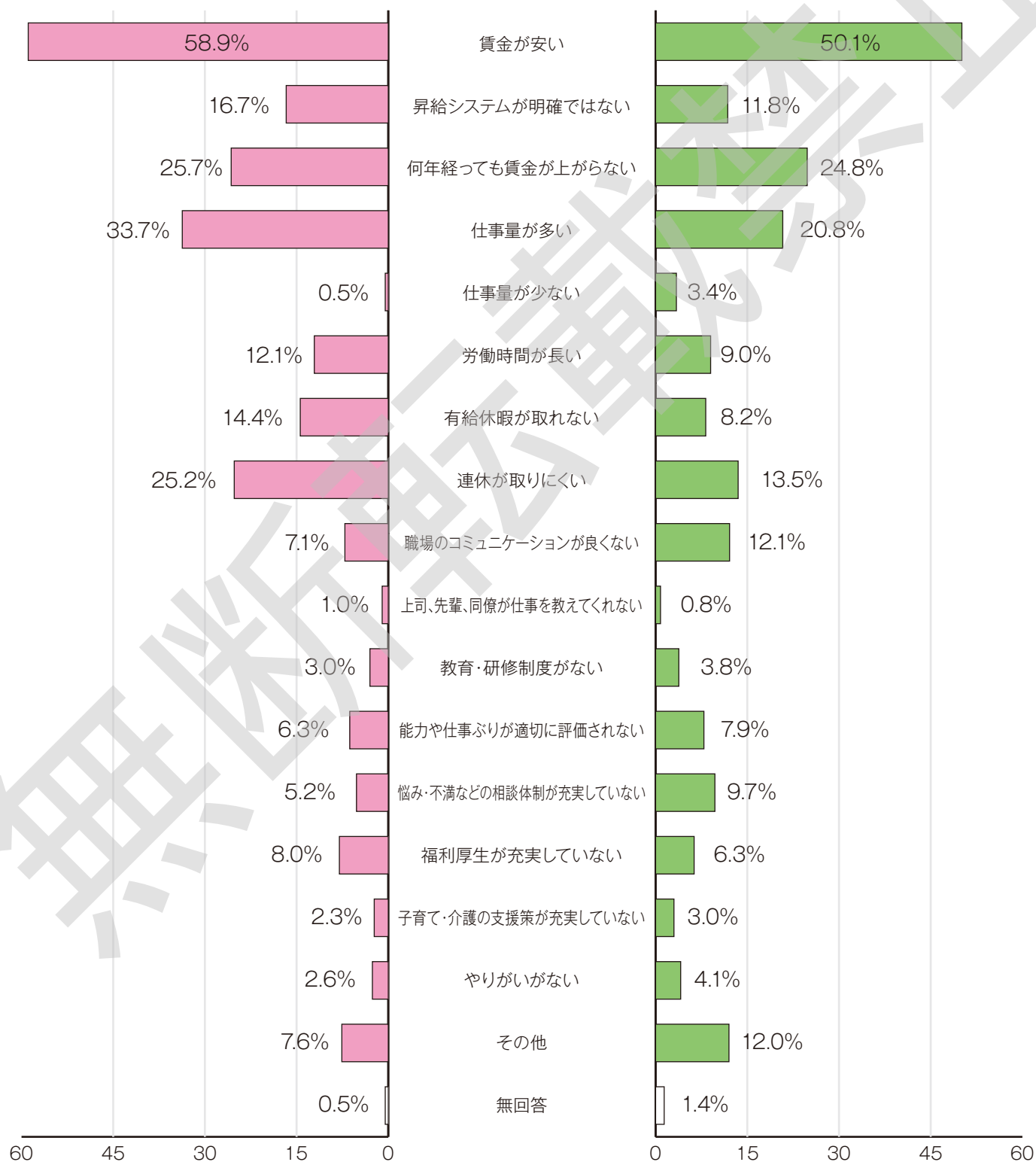
(2) (1)で「ある」と答えた方へ 不安を感じる理由(3つ以内)



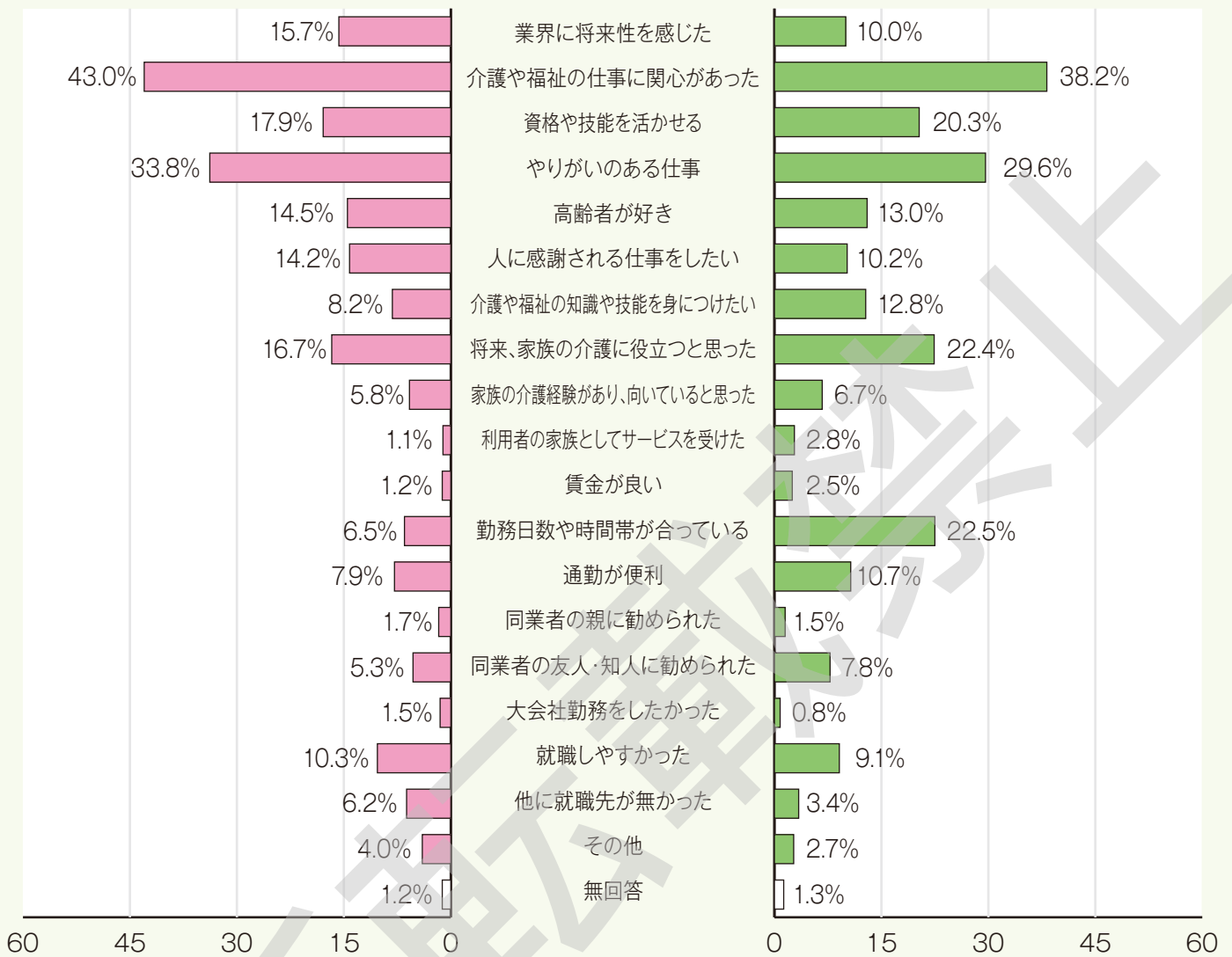
12 (1) 働く上での不満



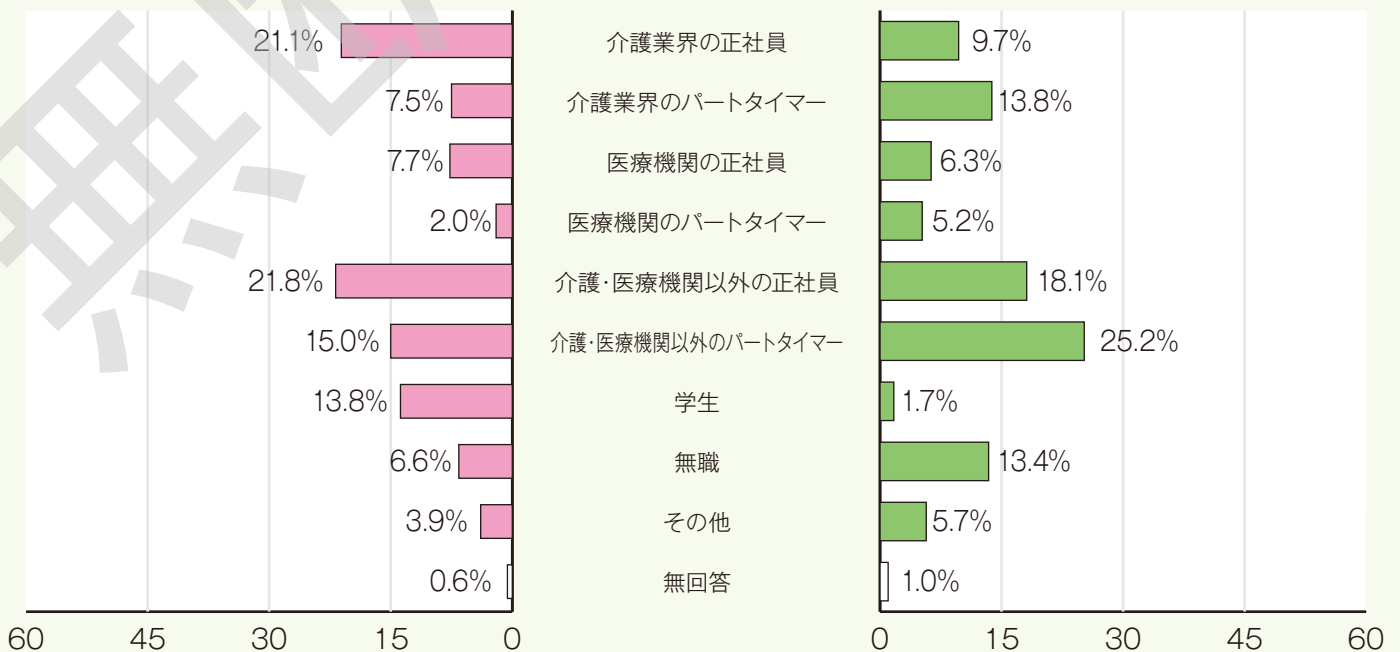
(2) (1)で「ある」と回答した方へ 不満を感じる理由(3つ以内)



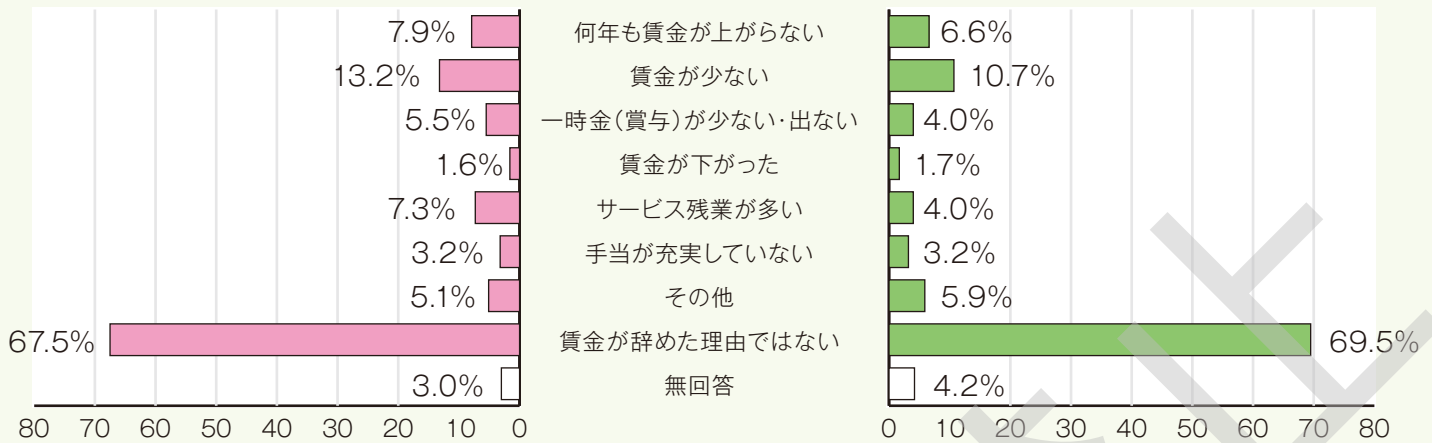
13 介護業界に入った理由（3つ以内）



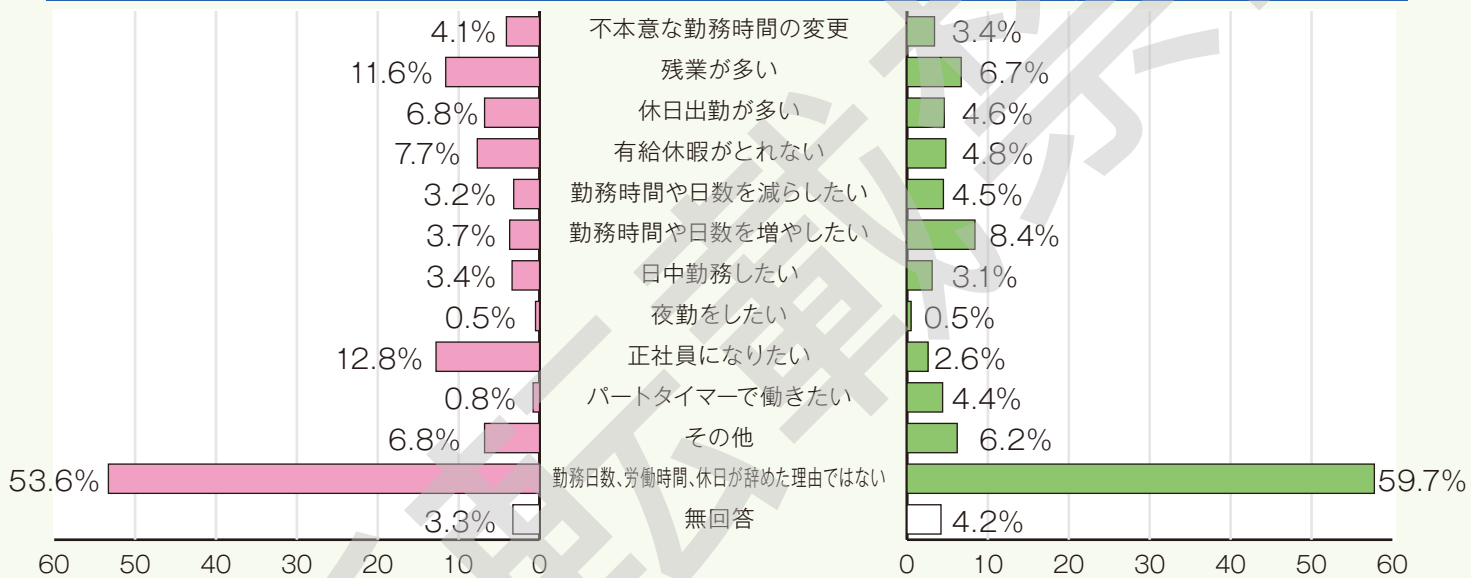
14 (1) 現職場の直前に就いていた仕事



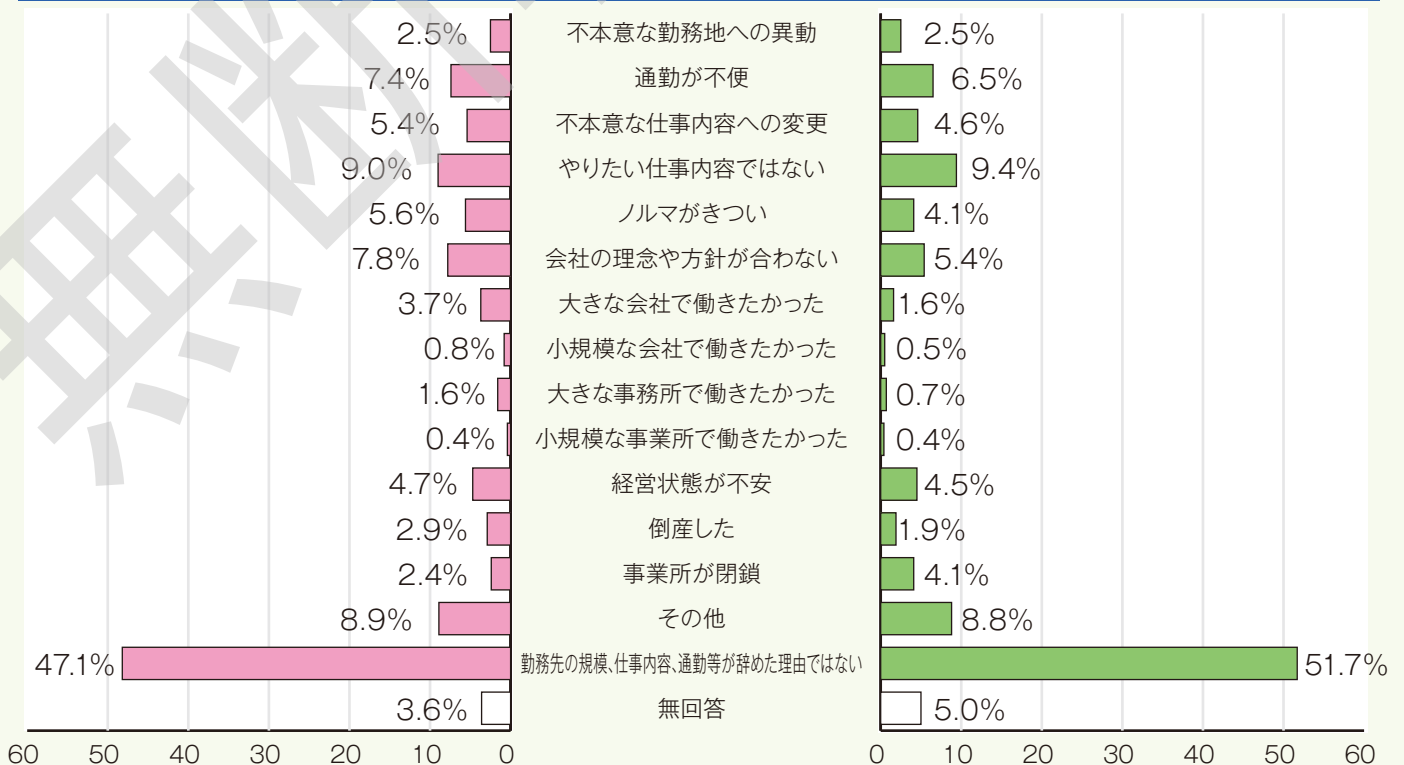
14 (2) 前職を辞めた理由 【1.賃金】 (3つ以内)



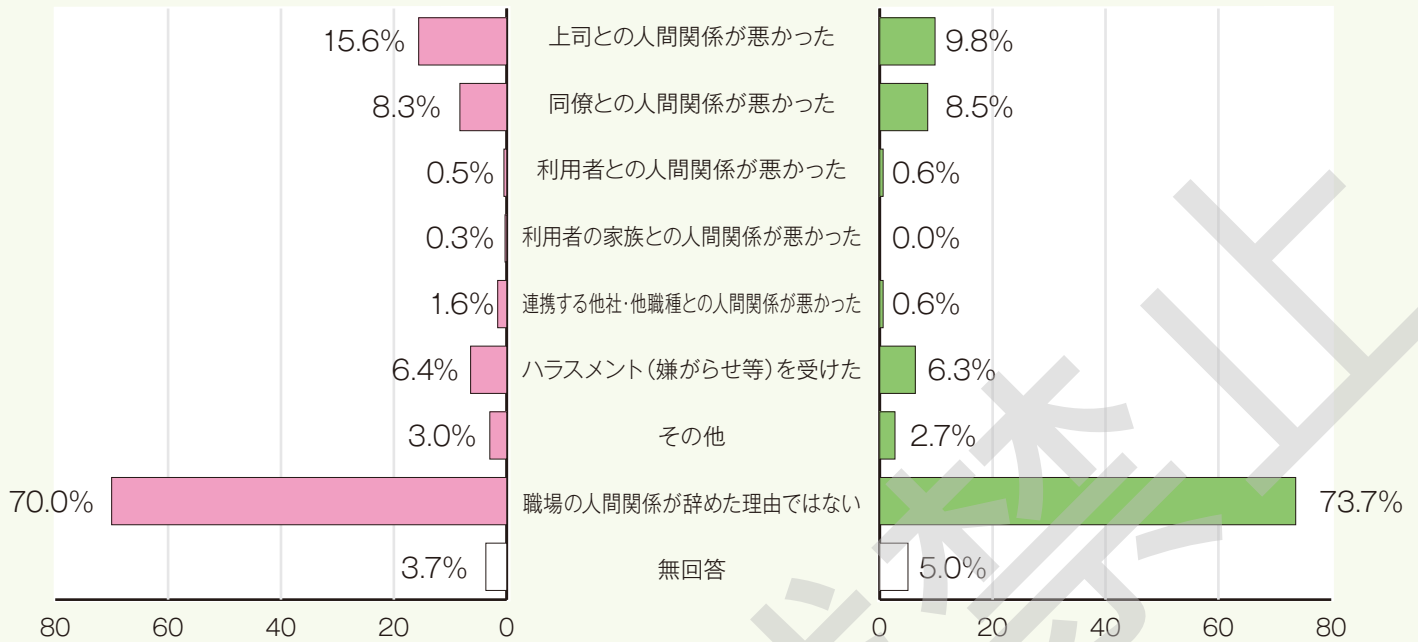
(2) 前職を辞めた理由 【2.勤務日数、労働時間、休日】 (3つ以内)



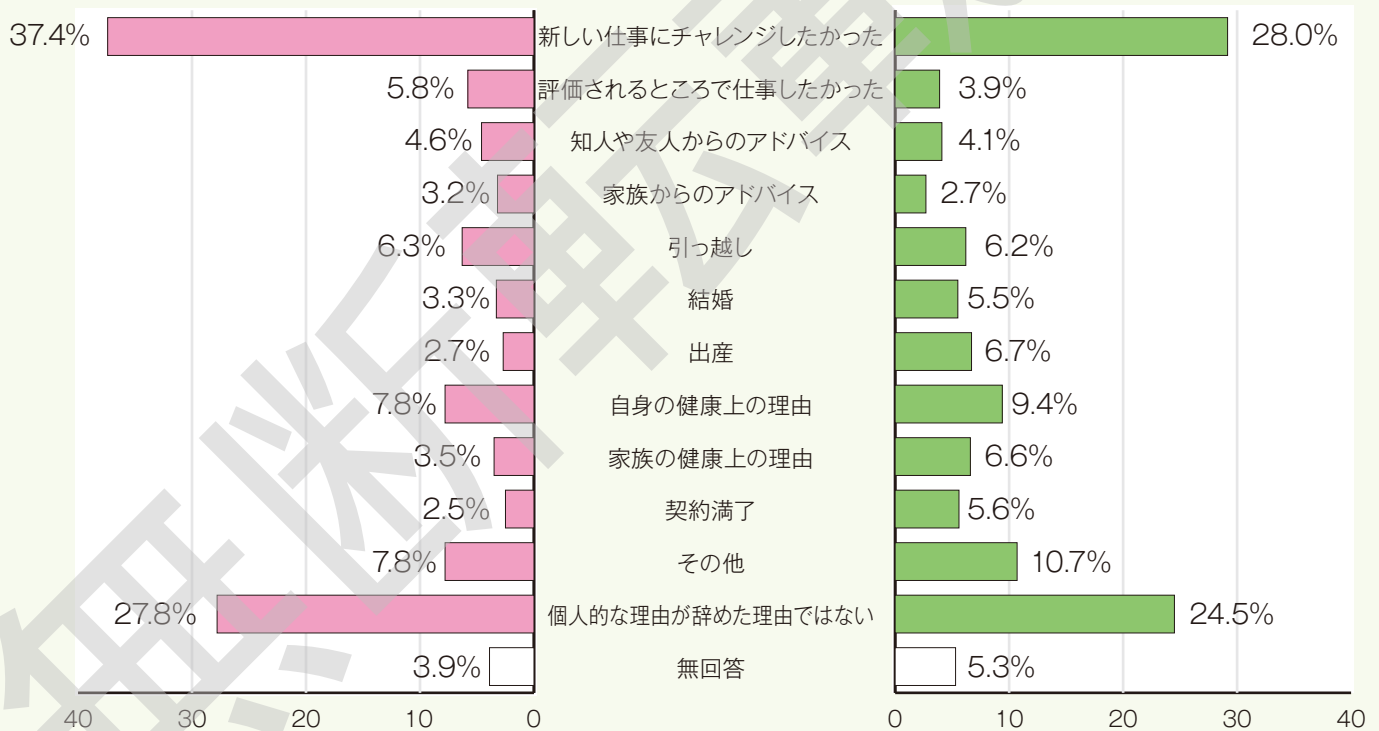
(2) 前職を辞めた理由 【3.勤務先の規模、仕事内容、通勤等】 (3つ以内)



14 (2) 前職を辞めた理由 【4.職場の人間関係】(3つ以内)

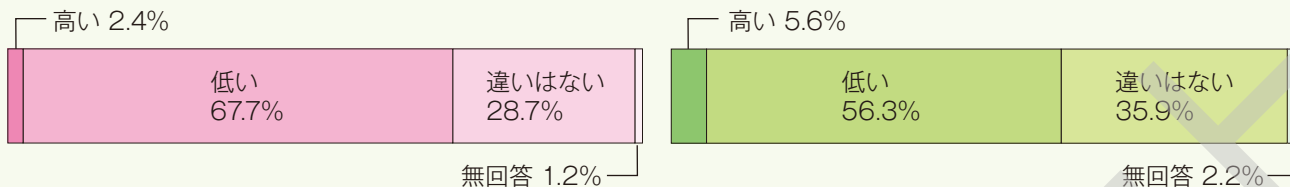


(2) 前職を辞めた理由 【5.個人的な理由】(3つ以内)

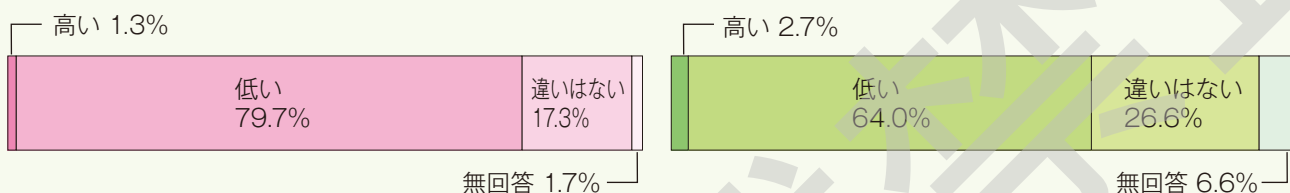


介護業界に入る前に持っていたイメージと現在感じている違い

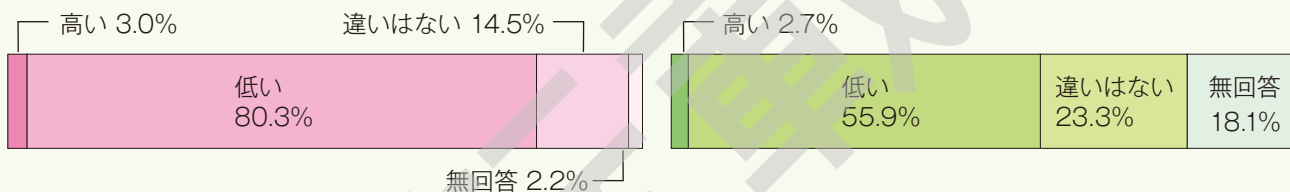
15 (1)賃金 が思っていたより



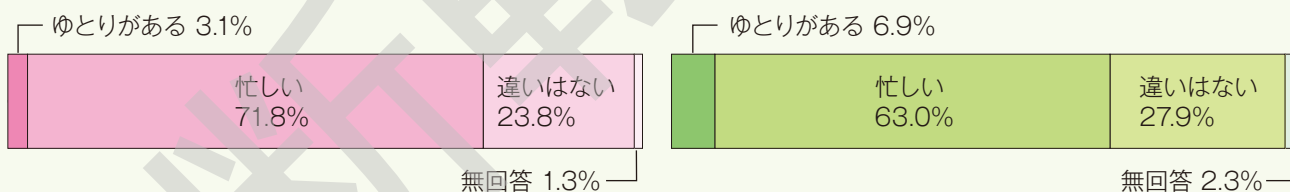
(2)昇給額 が思っていたより



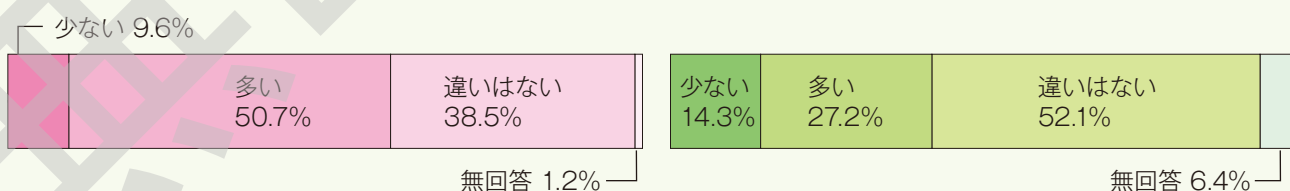
(3)一時金(賞与) が思っていたより



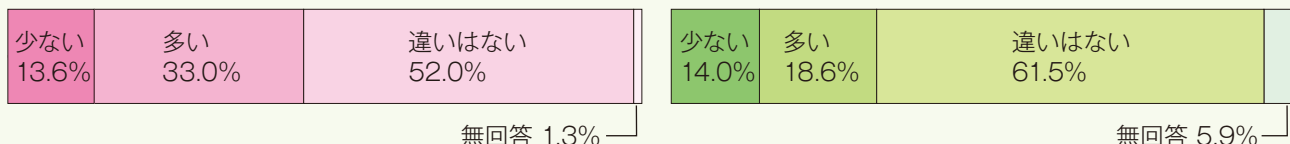
(4)1日の忙しさ が思っていたより



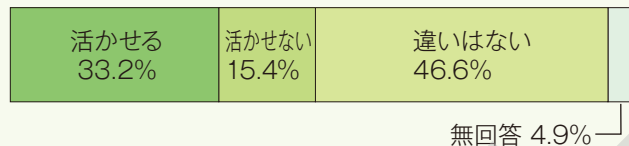
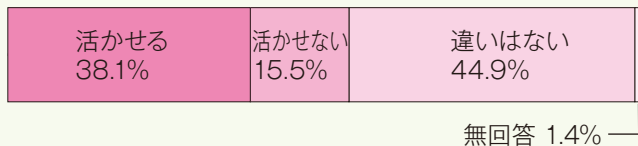
(5)残業時間 が思っていたより



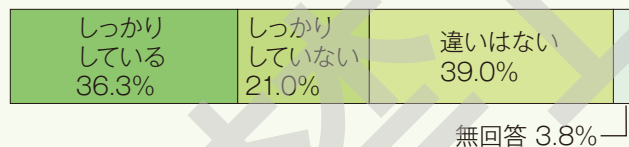
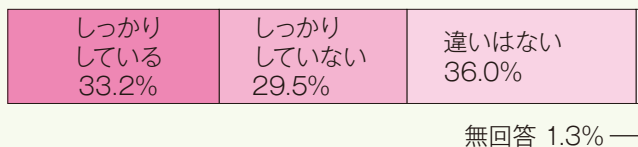
(6)休日出勤の回数 が思っていたより



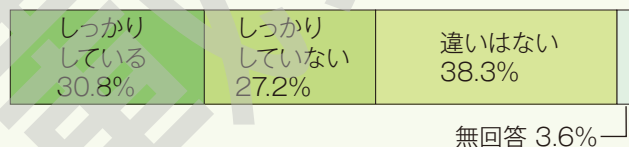
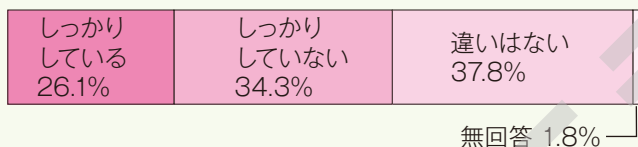
15 (7) 資格の活用 が思っていたより



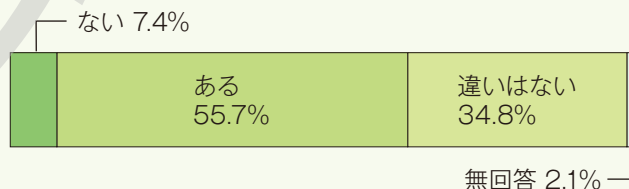
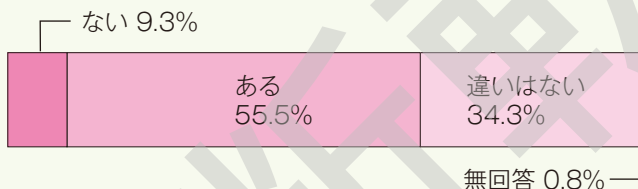
(8) 会社の研修制度 が思っていたより



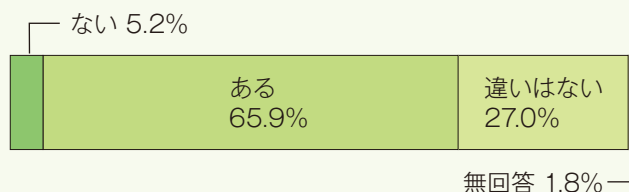
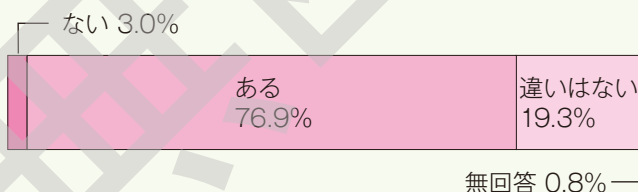
(9) 職場内での教育・指導 が思っていたより



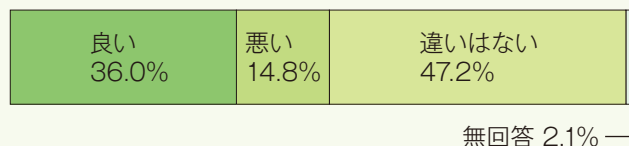
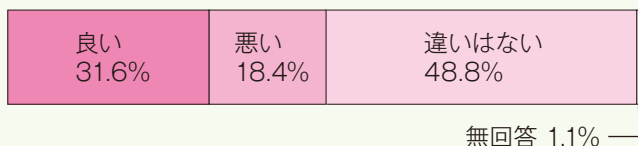
(10) 肉体的疲労 が思っていたより



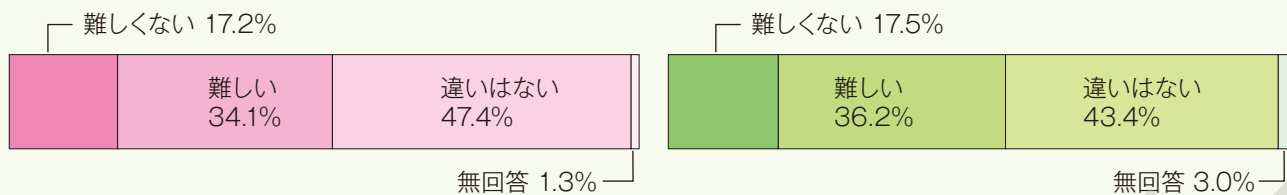
(11) 精神的な疲労 が思っていたより



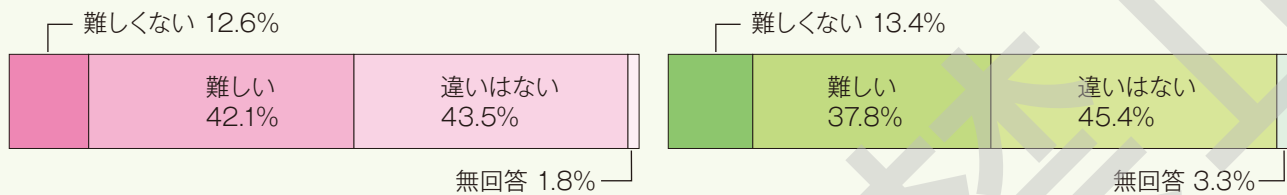
(12) 職場内の人間関係 が思っていたより



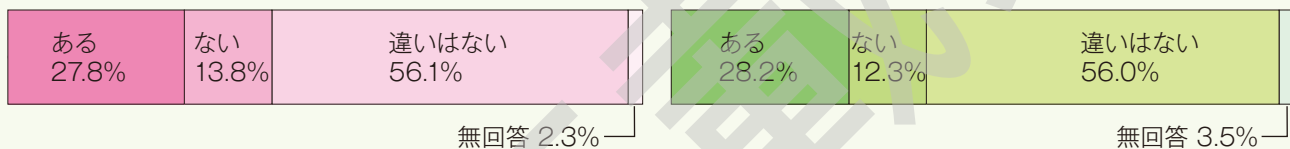
15 (13)利用者との関係作り が思っていたより



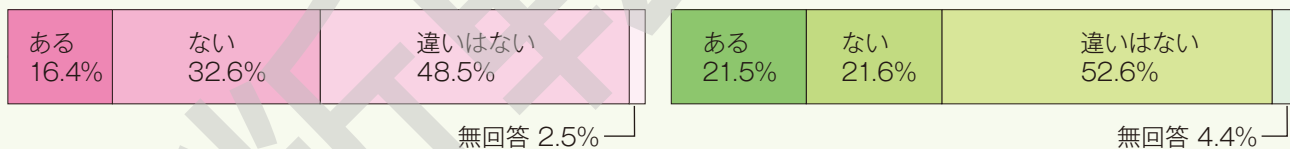
(14)利用者のご家族との関係作り が思っていたより



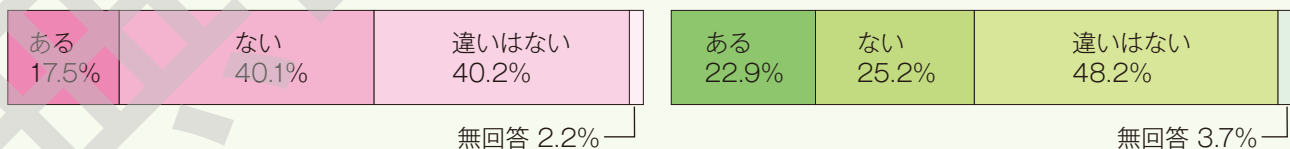
(15)仕事内容の適正 が思っていたより



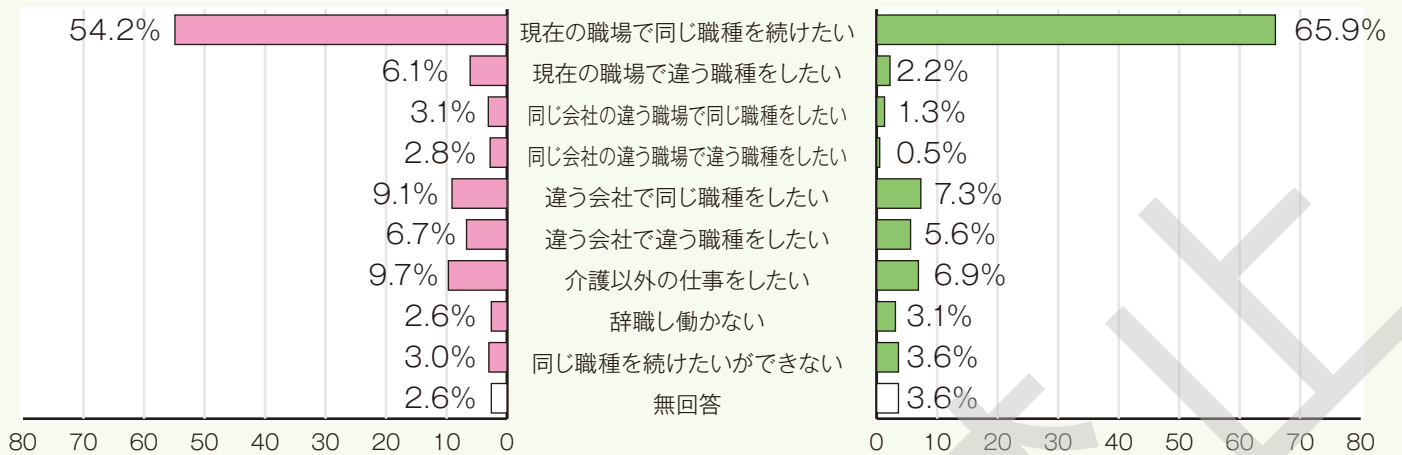
(16)会社の将来性 が思っていたより



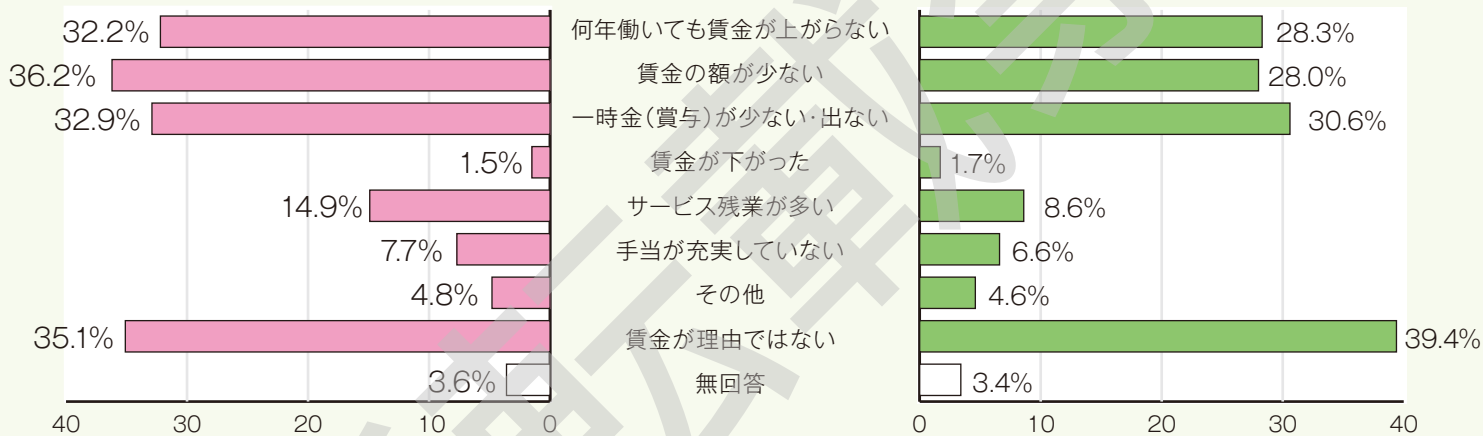
(17)介護業界の将来性 が思っていたより



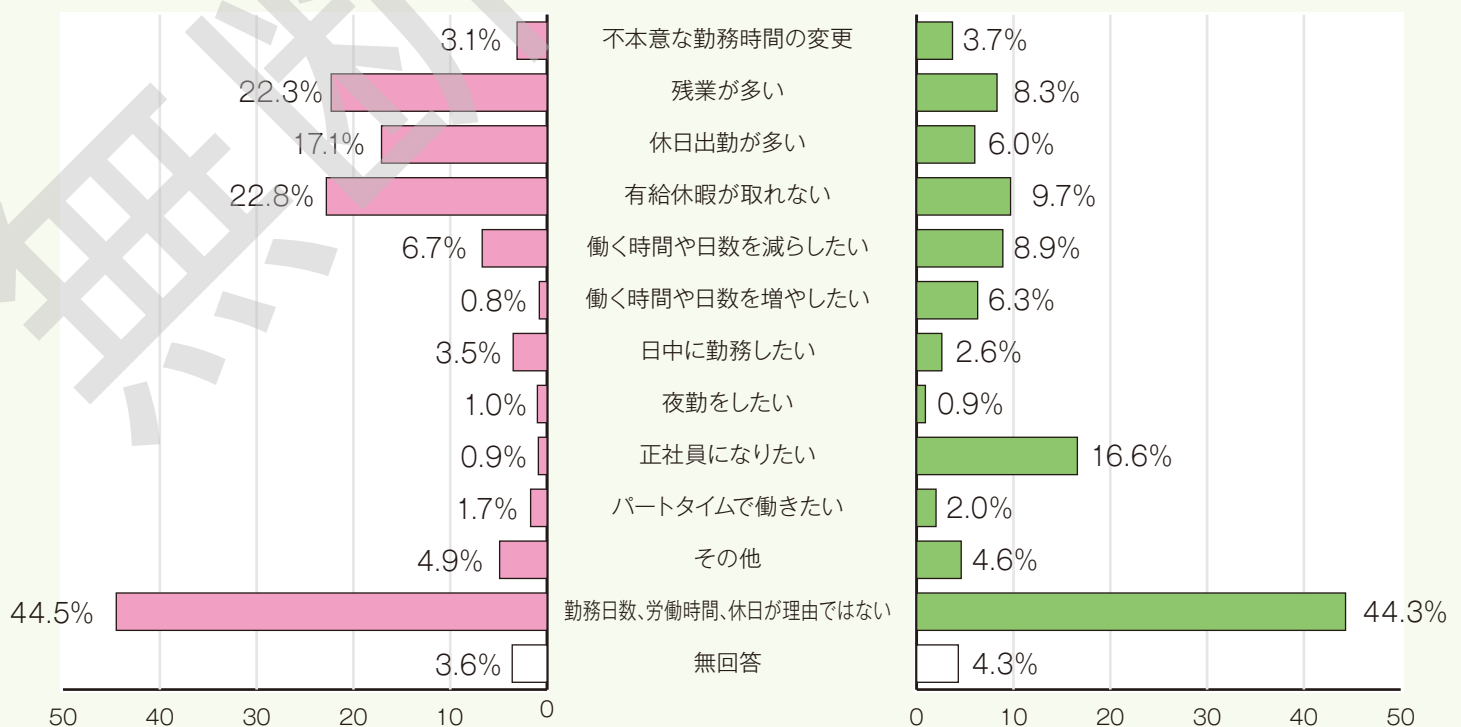
16 (1)現在の仕事を続けたいかどうか



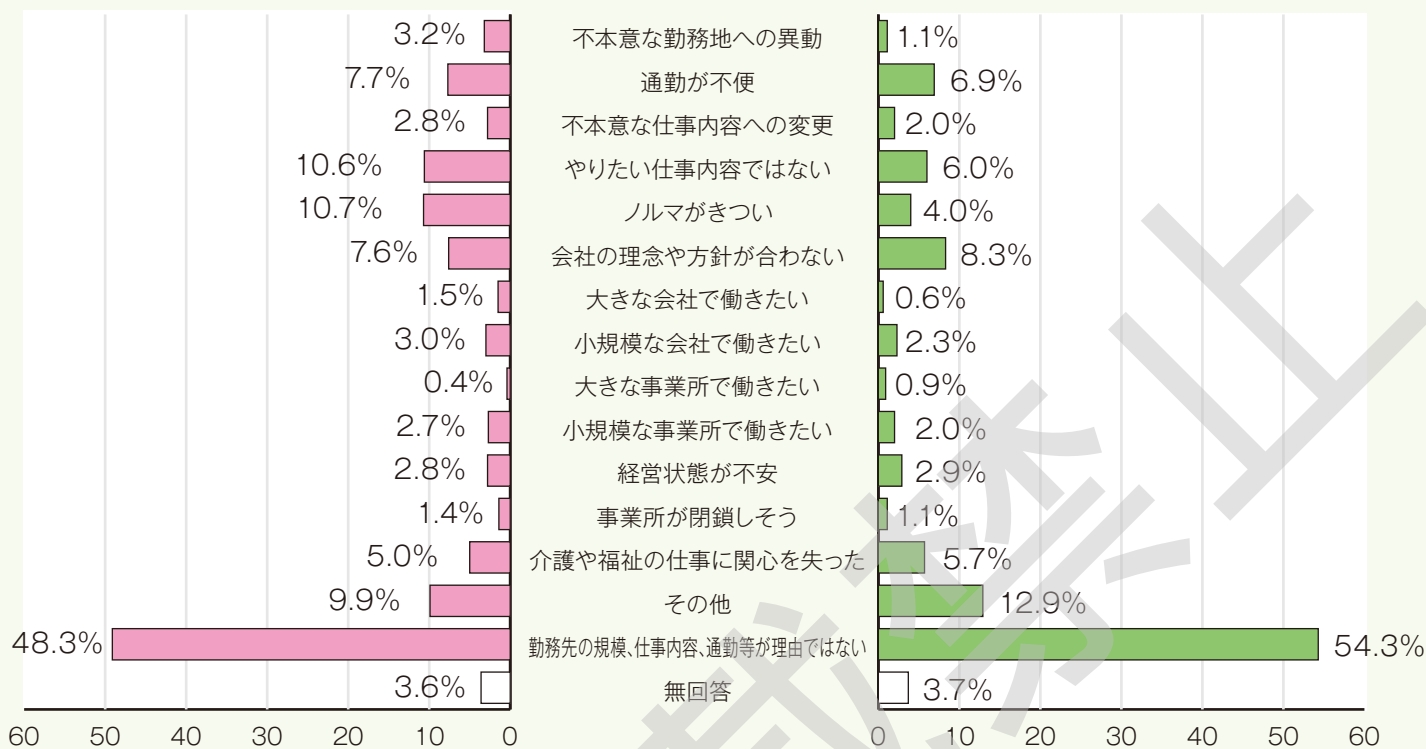
(2)現在の仕事を続けたくない理由 【1.賃金】(3つ以内)



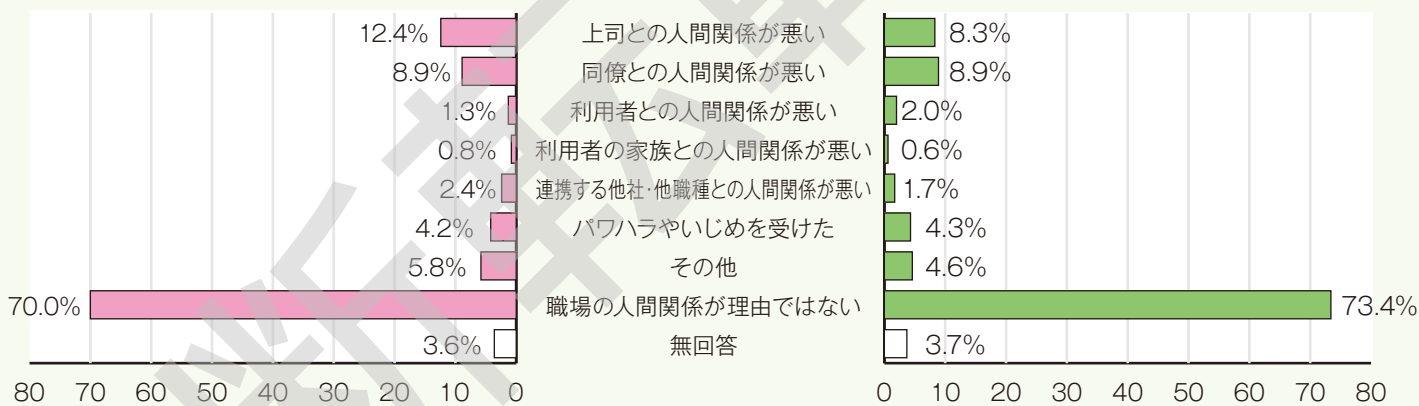
(2)現在の仕事を続けたくない理由 【2.勤務日数、労働時間、休日】(3つ以内)



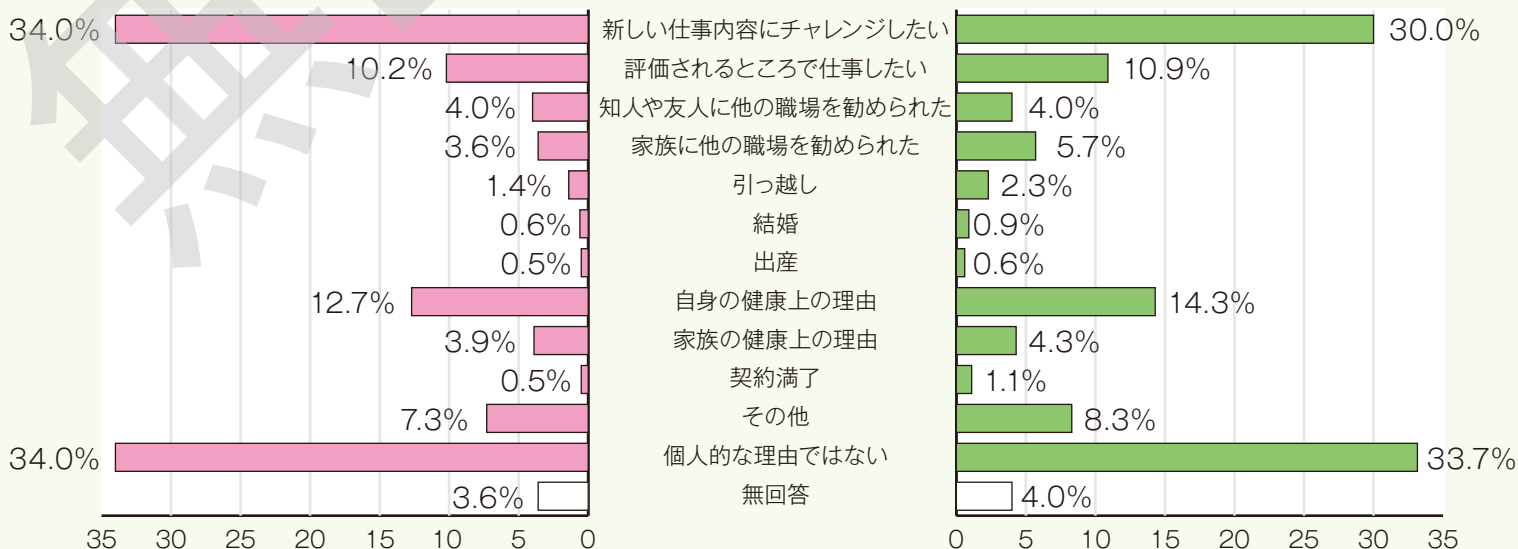
16 (2) 現在の仕事を続けたくない理由 【3.勤務先の規模、仕事内容、通勤等】(3つ以内)



(2) 現在の仕事を続けたくない理由 【4.職場の人間関係】(3つ以内)



(2) 現在の仕事を続けたくない理由 【5.個人的な理由】(3つ以内)



17 現在、介護の最前線(現場)で起こっている解決したいことは何ですか。悩みや課題を教えてください。

月給制組合員

① 祭日位は子供達の世話をしたい。祭日も働かなければならないので、子供達は家に置いている状態(放置)。何かあった時不安である。パートに戻りたいが、職員がいないため、戻れない。祭日に働いても手当てが全くないし退職金もないのであれば、パートでいたい。

③ 仕事がついに賃金が低いので、いつまで続くか不安です。次に続く人もなく、やめれば残った人が更にきつくなるの繰り返しです。利用者も、重度の方や認知症の方など、それなりの知識や技術を必要とされているのに、評価はお手伝いさん程度で納得行きません。

⑤ 介護が必要な状況になってから、知識を得るのではなく、小中高の学校教育から病むこと・老いることを学び、私達働く世代にも社会教育・地域教育の場で、国民全員が介護や高齢者に関わりを持っていかないといけないと思います。介護業界だけでは、かかえきれぬ問題ではないと思います。

② 私はもともと訪問入浴のヘルパーとして働いていて、2年ぐらい前からオペレーターが足りないので、オペレーターをしています。オペレーターは運転や力仕事もあるので、男性スタッフにして頂きたいですが、賃金が安いので男性スタッフが入ってこないです。

④ 介護職の離職が多いと言われている事で、介護福祉士の資格を取得しても実際介護の仕事をしていない人も多いのは、体力的精神的にも大変な割には賃金が低いからだと思えます。女性だけでなく、もっと男性が活躍できる場が沢山あると思うので、男性が結婚しても生活できる賃金があれば、もっと介護職に就きたいと思う人が増えるのではないかと思います。

⑥ 人員不足…とりたいところですが、一番気になっていることは、ハローワーク等をはじめ、いろいろなところで“とりあえず、介護の仕事やってみたら?”…というようなアドバイスをされているようで、どうみても務まらなそうな方が就業を希望され、雇ってみるものやっぱり続かず…といった状況がずっと続いています。介護の仕事は誰にでもできるという訳ではないと思います。ただでさえ人員が不足しているのに、新人の教育に時間をとられ、教育しようとしても、なかなか育たず…人員体制が、そんな方達を含めての人数になると現場は非常に苦しいです。TV等でとりあげられている様な方はそうめったにいません。

時給制組合員

① 何年も時給が上がらず将来が不安である。介護の仕事は大好きで、今の職場も大好きだが…。年々入居者様の対応や(ADL低下)により仕事の量が増えている。それに見合ったお給料がもらえたらと思う。

② パート職員は、それなりに頑張っている方もおられます。1年以上働かれた職員に対しては、ボーナス等あっても良いのではないのでしょうか？以前、クレームの手紙というのを読ませていただきました。スタッフの教育はもちろん大切ですが、問題には、それなりの理由もあると思われます。スタッフの心を吐き出せる場所が必要なのではと感じられました。介護をするスタッフも人間です。利用者様も、もちろん人間です。問題があれば、解決する前に現場を離れるスタッフの多いことが残念でなりません。

③ 事務員の賃金が安い。仕事量は多く(スタッフさんができない雑用をやっている)大変なことが多い。介護スタッフさんは事務の仕事は手伝えないが、事務員がケア以外の雑務をやっていることもあるのに評価してもらえない。だれでも良いと思われるかとおなしくなる。全国事務員同じような仕事しているのに賃金は各地の最低賃金が基準になっているため、その地域で格差があるのも改善できないものかと思えます。

④ 介護ロボの導入や外国人の採用ももちろん今後の介護現場を考える上で、大事な事ではあると思いますが、まず現在働いているスタッフが賃金以上の魅力を持って働けるような考え方が必要であると考えます。当然のように虐待etcのない現場である事を願います。

⑤ 肉体労働精神的苦痛で、体をこわしながら働いている介護スタッフたちがいるのに賃金が安いのはどうしてですか!?ちゃんと介護福祉士の資格取ったのに!!年に2回、ちゃんとしたボーナスを下さい!!働く楽しみがありません!!

⑥ 思った以上に認知症の方が増え、対応策を考えなくてはならないと感じる。また、人員不足である為、仕事量も多く、長く続けていく職業ではないのかと日々感じる。ある意味、生命をお預かりしている職業(専門職)であるにもかかわらず、賃金(時給)が安く、自立できる職種ではないと感じている。



UAゼンセン
日本介護クラフトユニオン

〒105-0014 東京都港区芝2丁目20-12友愛会館13F

フリーダイヤル：0120-519-931(平日：9:30-17:00)

TEL:03-5730-9381

<http://www.nccu.gr.jp/>



10940004(06)

本報告書のデータ・グラフ・その他記載事項の一切について無断転載を禁じます。